

日英EPA・日本政府主催女性経営者支援セミナー2025（記録）

2025年2月6日18:00～20:30（日本時間）

●在日英国商業会議所（BCCJ）

BCCJのセーラ・バックレイ専務理事から、日本と英国のビジネス習慣の違い、英国の女性起業家・経営者にとって日本でどのような機会が提供されているか、BCCJの概要及び活動内容について説明が行われた。

日本と英国のビジネス習慣及びコミュニケーションの違いは多岐にわたるが、①ビジネス上の判断について、英国では個人の裁量に基づくことが多く迅速であるのに対し、日本は稟議プロセスを踏み合意に基づく判断を行うため判断が遅くなる傾向があること、②組織の階層について、英国はフラットでインフォーマルであるのに対し、日本は強固な階層が存在し年功序列が重要視される傾向があること、③会議の進行方法について、英国では要点に即して進行され、直接的な表現が用いられるのに対し、日本では会議進行において人間関係が重視され、婉曲的な表現が用いられる傾向があること、④ビジネス・コミュニケーションのスタイルについて、英国では直接的な表現が用いられ、率直なやり取りが多く見られるのに対し、日本では間接的な表現が用いられ、「空気を読む」でやり取りを行うことが重視される傾向にあること等が例として挙げられた。また、日本でのビジネス活動を円滑に進める上で、こうした違いを理解し尊重することが重要であると述べた。

日本の市場は、政府が後押しするスタートアップ及びイノベーションの波により、特に科学技術、サステナビリティ、クリエイティブ産業において国際的なパートナーシップや専門人材を求めている旨指摘があった。また、教育、ヘルスケア、ラグジュアリー及びサステナビリティの分野で英語話者からの専門的かつ国際的な視点が強く求められており、英国の女性起業家・経営者にとって大きな機会となっている旨言及があった。

最後に、BCCJは日本企業及び英国企業の支援を行っており、現在では44の産業セクターの企業を支援している旨紹介が行われた。支援企業の多くに関連するイベントやネットワーキング機会等、月に4～5回程イベントを開催している旨説明し、日本の市場について質問等あれば気軽に連絡していただきたい旨発言があった。

（了）